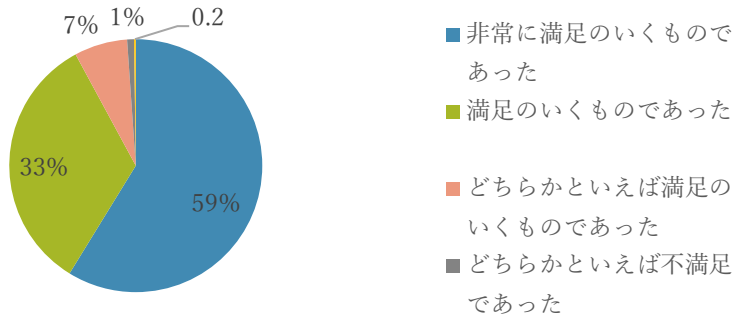


## 2025年度 実務訓練 履修後実態調査 回答件数：456件

### ● 実務訓練の満足度



「非常に満足」と「満足」を合わせると、全体の92.1%を占めており、学生たちは期待以上の貴重な社会経験を得ることができたことが伺えます。高い満足度の背景には、現場での丁寧な指導や、大学で学んだ知識を実社会でアウトプットする機会の充実があると考えられます。不満足層は極めて少ないものの、一部で業務量が少ない、単純作業が多かった等の意見があげられました。

### ● 実務訓練先を選択した主な理由について（上位5回答）

769件の回答（複数選択可）



「実習テーマのマッチング」が最大の選択理由となっています。学生は自分の専門性や興味が活かせるかを重視しているため、受入照会時のテーマ提示は抽象的な表現を避け、使用する技術や解決すべき課題、期待される成果物など、可能な限り具体的に記載し、何をするかイメージしやすいことが、学生の目に留まるポイントとなります。

### ● 興味がある実務訓練機関だったが、派遣先候補として選択しなかった理由について（上位5回答）

418件の回答（複数選択可）



学生の多くは「条件」や「場所」も考慮して機関を選んでいきます。もし可能であれば、宿泊先の斡旋といったサポートをいただければ、学生も安心して志望することができ、結果として貴機関への関心をより高めるきっかけとなります。

## ● 事前面談(打合せ)の実施状況



約7割の学生が事前面談(打合せ)を行わずに派遣されていますが、事前の準備不足や現地でのギャップに関する声も散見されます。派遣学生が決定後、オンライン等による事前面談(打合せ)を実施いただき、そこでテーマや実務訓練での目標などのすり合わせを行うことが、実習開始後のスムーズな立ち上がりと認識のギャップによるトラブル防止に非常に有効です。

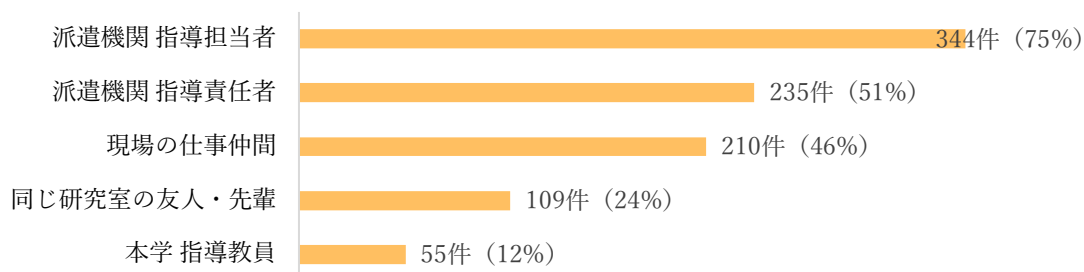
## ● 企業秘密にあたる情報の取り扱いについて



今回の調査で機密情報を「多く取り扱った」学生の満足度が最も高いという結果も出ています。これは、現場の本質的な課題に深く関わることで、組織の一員として貢献している実感が得られ、それが「学びの深化」に直結しているためと考えられます。こうした実習の推進にあたり、もし貴機関の規定で書類の手続き等が必要となった場合には、本学でも個別の誓約書締結など柔軟にバックアップできる体制を整えております。

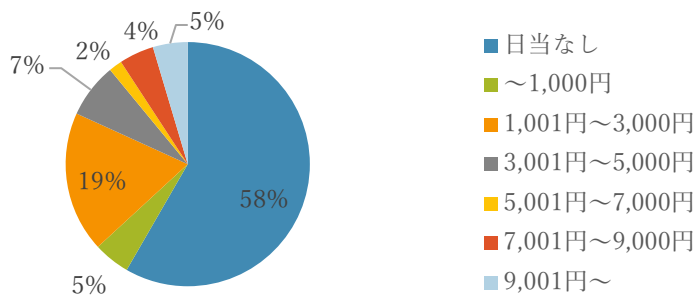
## ● 実習期間中における相談相手について(上位5回答)

953件の回答(複数選択可)



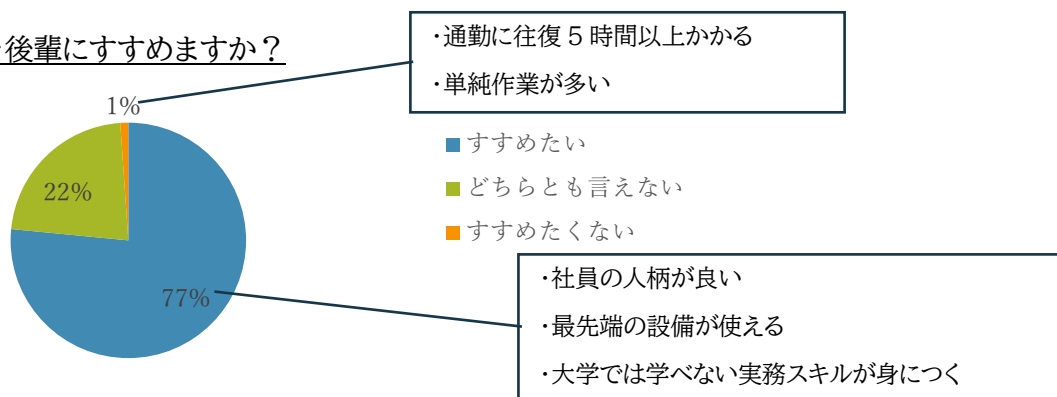
多くの学生が「現場の指導担当者」を相談相手として挙げており、実習期間中の大きな支えとなっていることがうかがえます。慣れない環境での実習においては、担当者様との円滑なコミュニケーションが学生の安心感につながり、ひいては実習課題への積極的な取り組みを促します。

## ● 日当の金額について



現在、約 4 割の機関で日当が支給されています。金額としては 1 日あたり 1,000～3,000 円が中心です。実務訓練は教育の一環として行われる科目であるため、日当の支給については受入機関のご判断に委ねています。

## ● 実務訓練先を後輩にすすめますか？



約 8 割の学生が後輩に勧めたいと回答しています。「すすめたい」理由としては、「社員の人が良い」「最先端の設備が使える」「大学では学べない実務スキルが身につく」といった意見が多く、充実した育成環境が評価されています。反対に「すすめたくない」理由には、「通勤に往復 5 時間以上かかる」「単純作業が多い」といった内容が見られました。現場作業や工場見学を、「設計・管理・改善」に不可欠なインプットと定義し、後の実習との繋がりを説明していただくことで、学生はより強い目的意識を持って取り組むことができます。

## ● 実務訓練を終えた感想(抜粋)

414 件の回答まとめ

- ・ 大学の知識が実務でどう活きるか体感でき、大変貴重な経験でした。特に、実験データの整理・解析を通して業務の一部に主体的に貢献できたことは大きな成果だと感じています。
- ・ XR 技術の最前線で実践的なスキルを習得できました。現場での試行錯誤を通して、技術者として大切な「ユーザー視点」を養う上で非常に充実した経験となりました。
- ・ 研究開発の実態を深く知ることができ、自分の将来を考える上で重要な経験になりました。研究室では扱えない大規模な計算環境でのモデル構築は、他ではできない経験です。
- ・ 異文化環境での挑戦は、技術面以上に精神面での成長に繋がりました。コミュニケーションの難しさと大切さを痛感し、将来はグローバルに活躍したいという意欲が湧きました。
- ・ 設計と施工のつながりを実感できました。図面上で見ていた内容が実際に現場で形になっていく様子を確認でき、業務の優先順位や効率の重要性を学ぶことができました。

## ● 実務訓練先へのフィードバック

361件の回答のまとめ

### 1) 感謝の気持ち

- ・多忙な業務の間を縫って、毎日丁寧にご指導いただいた社員の皆様に心から感謝します。
- ・未熟な学生を温かく迎え入れ、一人の技術者として尊重していただき自信がたった。
- ・拙い語学力や知識不足に対しても、忍耐強く耳を傾けてくださり感謝に堪えない。

### 2) 学びと経験

- ・基礎研究が製品化へと繋がるプロセスを学べたことは、今後の大きな財産になった。
- ・実験技術だけでなく、プロとしての仕事への向き合い方を深く学ぶことができた。
- ・現場の生データや機密情報に触れさせていただき、質の高い実習を経験できた。
- ・実際の業務に近いテーマを与えられ、責任とやりがいを強く感じることもできた。

### 3) 実務訓練の環境

- ・非常に清潔で設備の整った環境で、のびのびと実習に励むことができ感謝している。
- ・職場の雰囲気明るく、休憩時間の交流のおかげで過度な緊張をせず取り組めた。
- ・定期的なミーティングがあり、自分の進捗を常に確認・修正できた点が非常に良い。

### 4) キャリアへの影響

- ・実習を通じ、将来は貴社のような環境で働きたいという強い入社意欲が湧いた。
- ・キャリア形成において重要な指針となり、就職活動への意識が大きく変わった。

### 5) 提案と改善点

- ・宿舍の備品が不足していたため、持参すべき物のリストを事前に共有してほしい。
- ・実務的な作業だけでなく、より高度な専門スキルの実習を増やしてほしい。
- ・現地実習とリモート実習の期間配分について、より柔軟な調整を希望する。

実務訓練を受け入れていただいた多くの機関（企業）の皆様にご支援をいただき、学生たちは非常に貴重な経験を積み、社会での学びを深める素晴らしい機会を得ることができました。心より感謝申し上げます。

2026年度も引き続き、皆様のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。